

Rotary 



BE THE INSPIRATION
インスピレーションになろう

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

2018-19年度
ガバナー月信 **12**月号

Vol.6

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー **山本博史**



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2018-19年度
ガバナー月信 12月号 Vol.6

CONTENTS

ガバナーメッセージ 疾病予防と治療月間に寄せて	1
クラブ訪問で感じたこと	3
国際大会 第2660地区 大阪地区ナイトご案内	4
2018年 決議審議会決議案 報告	5
広報・情報・公共イメージ向上セミナー 報告	6
米山奨学生 宝塚観劇レクリエーション 報告	7
地区ロータリーデー 報告	8
インターアクト年次大会 報告	9
ロータリーアクト活動報告	10
第2640地区 地区大会 報告 RI会長代理 立野純三氏をお迎えして	12
平和フェローの紹介	13
グローバル奨学生 近況報告	14
青少年交換学生終了証 (Certificate) について	16
月信購読に関するアンケート結果	17
My ROTARY 登録率	19
米山奨学委員会/ロータリー財団	20
米山奨学会 寄付状況	21
2018年10月度 会員数・出席報告	23
コーディネーターニュース	24
ハイライトよねやま	25
敬弔/お知らせ	27



疾病予防と治療月間に寄せて

国際ロータリー 第2660地区
ガバナー

山本 博史
(大阪南RC)

現在も世界では多くの人々が、基本的医療サービスを受けることができません。

- ◆毎年10億人が Dengue 熱やハンセン氏病に苦しみ、先進国での症例が少ないため製薬会社の開発が遅れています
- ◆保健従事者の数が人口1万人あたり23人に満たない国が57あり、毎年世界で240万人の医師、看護師、助産師、熟練介護者が不足しています
- ◆世界人口の6人に1人が医療費を払うことができません
- ◆医療費の負担によって、毎年1億人が貧困生活に追い込まれています

質の高い医療を受ける権利がすべての人にあるにも関わらず、多くの人びとが病気によって苦しみ、その結果貧困を強いられています。そして、世界で多くのロータリークラブが、病気の蔓延や医療不足に悩む地域社会に、仮設クリニックや献血センター、研修施設をつくったり、無料の定期健康診断や眼科・歯科検診など、医師と患者と政府が協力できるインフラの提供を支援しています。

国連では、2015年に新しいアジェンダ、SDGs (エスディーゼーズ：Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標) が日本を含む193の加盟国の合意の下採択され、17ある目標のうち第3の目標に「すべての人に健康と福祉を」とあります。具体的なターゲットでは、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病(伝染病)の根絶、非感染性疾患による若年死亡率減少、主に開発途上国において安価な必須医薬品及びワクチンへのアクセスを提供などが掲げられています。

ロータリーが1979年以来取り組んできたポリオを撲滅計画は、「疾病予防と治療」の分野におけるロータリーの代表的な活動ですが、99.9%撲滅したものの、今年もパキスタンとアフガニスタンで18件の発症が確認されてしまいました(2018年9月18日現在、パキスタン4件、アフガニスタン14件)。

しかし、ポリオ撲滅への取り組みも、野生株常在国で進化しています。パキスタンでは、ロータリーの協力で、政府や通信・データ管理の事業者により保健従事者に800台以上の携帯電話が支給され、ポリオ発症の疑いがある場合は、即座にパキスタン国立緊急センターに連絡します。また、予防接種を受けていない子ども、拒否する保護者の有無、予防接種の実施範囲も報告します。同国では、5歳未満の児童35万人にポリオ予防接種を行うことを目指しています。私たちはこういった撲滅への取り組みを、ポリオ基金への寄付によって支援しています。

クラブレベルでは、財団のグローバル補助金を活用して、「疾病治療と予防」に貢献することができます。この補助金の受益者は、2013-14年に新しい補助金モデルが導入された当時は主に感染症のリスクの高い人々への支援が目的でしたが、現在は妊婦、新生児、健康リスクのある



子ども、性行為感染症の罹患リスクのある思春期の少女、非伝染病の罹患リスクのある成人男女、罹患リスクの高い高齢者、伝染病または感染症の罹患リスクの高い集団、障害者、精神疾患、アルコールまたは薬物依存症、PTSDなど健康問題を抱える人びとと対象が多様になり、活動も様々な形態が認められています。しかし、単に設備や非医療用品を医療施設に提供するだけのプロジェクトは受領資格がありません。機器寄贈は、あくまでも大型の持続可能なプロジェクトの一環である必要があります。

つまり、受益社会の医療インフラの継続的改善につながる活動計画が必要で、これはグローバル補助金の全ての6重点分野に共通する要件となっています。

当地区では、「疾病治療と予防」分野において承認を受けたグローバル補助金活動は、2013-14年度に現行の補助金モデルが導入されてから15件と最も多く、6重点分野の中でも比較的取り組みやすい活動と言えるかもしれません。未だ「疾病治療と予防」の分野で人道的国際奉仕活動を実施したことのないクラブも、医療資材や設備の寄贈にとどまらない、受益社会が自ら住民の健康を守り、医療サービスの質を継続的に高めることのできる活動に取り組んで下さい。

質の良い医療を、貧富関わりなく一人でも多くの人びとに届けたいものです。

クラブ訪問で感じたこと

IM第5組
ガバナー補佐

川上 大雄
(大阪ユニバーサルシティRC)



今年度はIMの再編成という重要な年度のガバナー補佐を拝命し、各クラブの少しでもお役に立てればと思っておりましたが、まだまだ力不足を痛感する次第です。しかし、各クラブそれぞれの個性を発揮され、素晴らしい奉仕の世界を見せていただいております、ロータリーの奥深さ、感動を再認識しました。

その中で認識を新たにすることがあります。

それは「卓話」です。卓話というと、多くの方が人前で話すのが苦手な当番になると何を話そうか悩まれていると思いますが、私は卓話はプレゼンテーションの修練の場であるということに気がつきました。プレゼンテーションというと営業の商品プレゼンを思い浮かべますが、それだけでなくあらゆる場面でプレゼンテーションは行われています。企業人においてプレゼンテーションは関係ない必要ないという人はいないと思います。

プレゼンテーションの目的は「人を動かす」ということです。感動、行動をインスパイアし、行動を起こさせなければプレゼンテーションの意味はありません。今年度のロータリーのテーマは「インスピレーションになるう」です。人を動かしてインスパイアしなければインスピレーションも生まれません。

ロータリーのメンバー一人一人がインスパイアされ行動を起こさなければ活性化された新たなロータリーに生まれ変わることはできません。その為にもメンバーひとりひとりのプレゼンテーション力を高めなくてはなりません。そのための修練の場が卓話にあるのです。

嫌々過ごす時間ではなく、目の前のメンバーをインスパイアし、行動を起こさせるという明確な意識を持つことでクラブ全体の意義、価値が明確になると思います。

例会を活性化させクラブ全体の活性化を図る大きな手段として卓話を見直してはどうでしょう。

ロータリー国際大会ハンブルク（ドイツ）ツアー 国際ロータリー第2660地区大阪地区ナイト ご案内



第2660地区



ロータリー国際大会
ハンブルク（ドイツ）
期間：2019年6月1日～5日
6/1(土) 17時半 大阪地区 ナイト
6/2(日) ハンブルクメッセ開会式
※12月15日まで395ドル早期
割引でのご登録はこちら
riconvention.org/ja

一生の思い出をつくる場所ロータリー国際大会ハンブルク（ドイツ）は世界に変化をもたらすためにロータリアンが集い、そして行動を起こす場所です。著名人の講演を聴けば、奉仕への情熱が沸きロータリー活動の新たな発見があるでしょう。

ハンブルク市庁舎のレストラン「PARLAMENT HAMBURG」の宴会場グランドシュタインケラーにおいて6月1日(土) 17時半より大阪地区ナイトを開催いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。



2018年度 決議審議会決議案 報告

規定審議会委員会
幹事

樋口 信治
(大阪RC)

今年度の決議審議会決議案が10月1日付けで公開されました。

決議案件数は55件、2017年度は38件で、可決17件・否決21件でした。提案国は14ヶ国、内訳は以下の通りです。

日本	23件
米国	7件
アルゼンチン・オーストラリア・カナダ	各4件
ブラジル	3件
フランス・スイス・ドイツ	各2件
台湾・インド・ウルグアイ・スウェーデン・オーストリア・スペイン	各1件

*米国・カナダ及びアルゼンチン・ウルグアイによる重複提案があります。

日本は最も多くの23件を提案していますが、その内訳は以下の通り。

2017年度は19件で、可決9件・否決10件でした。

地区提案		クラブ提案	
2680 (兵庫) 2580 (東京沖縄)	各5件	大阪	3件
2840 (群馬)	3件	前橋・敦賀	各2件
		有田・京都八幡・神戸西神	各1件

本決議案に関する地区としての予定は以下の通りです。

2018年12月7日(金)	地区大会による結果報告
---------------	-------------

今年度の決議案の傾向は、下記のように分析できます。

1. 日本からの提案は、「中核的価値観」「職業奉仕」を強調するものや「ロータリー章典や手続き要覧の記載」や「規定審議会の在り方」に関するものが多く、何かが直ぐに変わることには繋がらないが、海外からの提案は、「男性会員クラブを認めないこと」「財団寄付を地区補助金に厚くすること」「ロータリアン子弟にも奨学金を出せるようにする」など具体的な提案が多く、これらの決議案が可決されると変化が起こるとイメージされます。
2. 例年上がってくるインターアクト以下の児童に奉仕活動を教えるEarly Act Clubやロータリーキッズを正式承認する提案、同一言語単位・国家単位のロータリー意思決定機関を確立する提案、ポリオ撲滅後の重点事業提案が今年も上程されています。
3. 6つの重点事業以外に環境保護を7つ目のテーマとして追加する件や、環境が疾病に与える影響に関連する活動、国連が提唱する持続可能な開発目標を支援する活動と従来の6つの重点事業との共同活動が提案されていますが、これらが採択されると新たな財政上の問題が起こり得ます。
4. 新たなテーマとしてロータリー・クラブセントラルやITに関連した提案が挙げられている反面、旧デザインのロータリー徽章を復活させることといった時代の流れに逆行する提案もあります。
5. 多様な会員(女性・若者・様々な人種や民族)によるクラブの設立や、性的虐待やハラスメントに関する規定を青少年活動に限らない提案なども新たな時代の流れの中での提案と言えます。

広報・情報・公共イメージ向上セミナー 報告

広報・情報・公共イメージ向上委員会
委員長

樋口 信治
(大阪RC)

前年度から始まった地区「広報・情報・公共イメージ向上セミナー」を、本年度は10月13日(土)の午後、「RI決議審議会決議案報告」と共に、各クラブ会長・会長エレクト・広報担当委員長を対象にして開催致しました。

●何故、「公共イメージ向上」なのか？

全世界的にロータリーは成長期から成熟期を迎えており、ここ数年120万人の会員は横ばいになっています。今後もロータリーが世界・地域社会に無くてはならない存在であり続けるためには、「奉仕活動を行う会員組織」としての位置づけを明確にして、地域社会の人々に、ロータリーを広く、正しく認知して頂くことが必要です。そのために私たちロータリアンは、ロータリーの「公共イメージ向上」を目指した活動を積極的に行う必要があり、関連する活動や情報を紹介するセミナーを開催することとなりました。

●セミナーで取り上げた内容

1. 広報ツールとして「地区ホームページ」の活用
2. 事業を実施する際に、ロータリー認知度を上げる「広報バックパネル」の活用
3. ロータリーに関連する情報を受発信するMy ROTARY機能(ロータリークラブ・セントラル、ショーケース、ブランドリソースセンター)の活用
4. 上記機能を理解し活用するための「ロータリー賞」申請方法
5. 講師(大柳満氏)による講演(広報活動を行うために必要な考え方やノウハウ指導)
6. ロータリー広報活動の実例紹介(新聞・ラジオ・テレビ・広告)

●今後の活動予定

公共イメージ向上セミナーで、ロータリー広報活動の必要性や考え方をお伝えし、一定の理解を得ることは出来たと考えますが、これで目的を達成したわけではありません。今後、クラブの「公共イメージ向上」活動を支援して行くため、委員会としては下記のような活動を行って参ります。

1. 地区ロータリーデー(11月3日4日)を開催し、ポリオ撲滅活動紹介を通じて、ロータリーの公共イメージ向上に寄与する。
2. 地区内ロータリークラブ例会での「公共イメージ向上」及び「My ROTARY」卓話の実施
3. ロータリーの公共イメージ向上に資するIMロータリーデーの広報活動
4. 「ロータリー賞」申請のためのワークショップ開催
5. 次年度に向けてクラブと地区の情報を発信する地区ホームページの改良



米山奨学生 宝塚観劇レクリエーション 報告

米山奨学委員会
委員 松下 和彦
(八尾中央RC)

日 時：2018年10月21日(日) 10:00~17:00

会 場：宝塚大劇場

出席者：山本博史G、四宮孝郎GE、簡 仁一GN、米山奨学委員会、クラブ会長・幹事、クラブ米山奨学委員長、米山カウンセラー、米山奨学生、米山奨学生学友会(関西)、ホストファミリー、青少年交換学生

恒例の宝塚観劇と昼食懇親会がこの4月から奨学生生活6ヶ月を経て、今一度ロータリーとの関わりを深めるべく交流の場として執り行われました。

今回は奨学生とその家族(38名)、世話クラブカウンセラー・ロータリアン・地区委員、役員、家族(56名)、米山奨学生学友会(関西)から15名、青少年交換学生(3名)、総勢112名が宝塚に集いました。

第一部は、日本物レビュー 白鷺(しらさぎ)の城

第二部は、ミュージカル・プレイ 異人たちのルネサンス

これらの観劇は東洋と西洋との2本立てとも言えます。皆さん自国の歴史と重なる背景があり難しい日本語でも感覚的に楽しみいただけたようです。

昼食懇親会では、司会は地区委員の森本尚孝会員がつかとめ、まず開会の挨拶は四宮孝郎ガバナーエレクトが、日本との架け橋である奨学生を励まされました。山本博史ガバナーは他地区の地区大会参加のため15時過ぎに到着され、早速、励ましのお言葉を述べられました。

奨学生皆さんから近況報告を兼ね一言いただく時間では皆さん口を揃えてこの奨学生システムに感謝をしている旨のお話をされました。特にホスト・ロータリアンとその家族に関しては、家族の一員としてお世話になっているありがたさに感謝している事、また例会参加では学業以上に日本を知る機会が多数あり、また多方面の方々との知り合いの場を得られ視野が広がったと、多くの奨学生の口から発せられました。

最後に米山奨学生学友会(関西)副会長のアリフ・ザイニ氏の挨拶では、今後共ロータリー活動を理解してロータリーとの関わりを常に持ってほしい、具体的にはクラブ例会、ロータリーデー、地区大会の参加をお願いされました。閉会の挨拶は、岡部倫正委員長が述べ今回のレクリエーションは無事幕を閉じました。



地区ロータリーデー 「地車 in 大阪城2018」開催報告

広報・情報・公共イメージ向上委員会
委員長

樋口 信治
(大阪RC)

国際ロータリー第2660地区は、大阪RCと共催する形で11月3日～4日の両日、大阪城公園で行われた「地車(だんじり) in 大阪城2018」の趣旨に賛同してブース出展し、「END POLIO NOW」の広報を地区ロータリーデーとして行いました。

両日とも秋晴れの良い天気にも恵まれ、10万人を超える市民の皆様が来られました。ロータリーを知って頂くため、ポリオ撲滅活動を紹介するVR映像を見て頂き、この運動を紹介するチラシを配り、募金活動も行いました。

大阪城や地車、ロータリーやEND POLIO NOWロゴを模した「顔出しボード」を作成し、来場者には自由に写真を撮って頂きました。多くの方が引切り無しに来て頂き、ご家族、ご友人と一緒にスマホで撮影をし、SNSで拡散して頂きました。ロータリーとEND POLIO NOWを、SNSを通じて、従来ロータリーとの関係が無かった多くの方々に広めることに繋がった意義は大きいと考えます。

さほど期待していなかった募金ですが、2日で365,460円の浄財を頂くことが出来ました。多くの若いお母さんたちが子供たちにお金を持たせ、募金に協力頂きました。私たちロータリアンは、パキスタン・アフガニスタン・ナイジェリアの常在国3か国からポリオ撲滅する活動がEND POLIO NOWであるという意識を持っていますが、母子手帳に載っているため、日本でもポリオワクチン接種が行われており、若いお母さんたちに、ポリオ撲滅運動は身近な国内問題であると教えて頂きました。この募金活動を通じて、私たちロータリアンはポリオ撲滅の日までこの活動を継続していかねばいけないといった意識を強くしました。

開催直前の連絡であったにも関わらず、TVニュース(NHK/朝日放送)や新聞記事(読売/毎日)にも取り上げて頂き、ロータリーの公共イメージ向上に役立てたと考えます。

当該事業は、大阪RCが主催した前年度のIM第6組ロータリーデーの成果を受けて、今年で7回目を迎える「地車 in 大阪城」を協賛することになったのが発端でした。企画から実行まで十分な時間がなかったにも関わらず、当日は38RC、119名のロータリアンと3名の学友が、ボランティアとして協力して貰えました。ロータリアンひとり一人が広報マンとして、ロータリー活動のPRをすることが、次の活動に活かされるものと確信致します。



インターアクト年次大会 報告

インターアクト委員会 委員長 中野 隆二
(大東RC)

開催日時：2018年11月4日(日) 10:00～15:30

開催場所及びホスト校：浪速高等学校中学校(大阪市住吉区)

提唱RC：大阪帝塚山RC(富家丈雄 会長)

出席者(人数)：山本博史ガバナー、泉 博朗パストガバナー、片山 勉直前ガバナー、四宮孝郎ガバナーエレクト、簡仁一ガバナーノミニ、IM第1組 田中隆弥ガバナー補佐エレクト、IM第3組 福田治夫ガバナー補佐エレクト、RYLA委員会 濱谷和也委員長、ローターアクト委員会 中島清治委員長、浪速高等学校中学校 中村泰雄副校長、清風学園中学校高等学校(31)、大阪桐蔭中学校高等学校(16)、浪速高等学校中学校(15)、四天王寺中学校高等学校(23)、金光八尾中学校高等学校(26)、相愛中学校高等学校(10)、大阪国際大和田中学校高等学校(5)、高槻中学校高等学校(11)、開明中学校高等学校(24)、アサンプション国際中学校高等学校(3)、顧問(27)、RYLA委員(1)、ローターアクト代表(1)、ロータリアン(21)、インターアクト委員会(11) 総勢235名

開会式：出席者挨拶、テーマ発表、出席者紹介

活動報告：各校インターアクトクラブ活動報告、2018年海外研修報告(DVD放映)

講演会：『赤十字における国際的な救援活動』

講師：日本赤十字社大阪府支部振興部 青少年・ボランティア課 青少年係長 加島康平氏/主事 久保ナミ氏

本年度は、池田くれはRCの提唱により2018年7月1日、新たにアサンプション国際中学校高等学校IACが設立され、10校総勢235名の参加者にて11月4日(日)浪速高等学校中学校で年次大会を開催しました。年次大会は、各クラブが1年間通じて行なってきた活動を発表するとともに、講演を通じて互いに情報を知る貴重な場でもあります。

開会に際して、山本Gを初め地区役員、今回の年次大会ホストクラブである浪速高等学校中学校から中村副校長、またその提唱RCである大阪帝塚山RC富家会長にご出席を賜り、貴重なご挨拶も頂戴しました。その後、各学校の活動報告を行い、清掃・募金・献血活動と、本年8月に台湾で行った海外研修のDVD鑑賞をしました。海外研修では国際理解と奉仕の精神を学ぶ事を目的とし、インターアクトたちが楽しそうに、また積極的にいきいきと国際交流をしている様子を映像で見ることが出来ました。

そして、講演会『赤十字における国際的な救援活動』をテーマに、講師加島先生にご講演を頂きました。その後、『写真で考えよう人道支援』をテーマに、グループワークで6班に分かれ、海外で起こった災害の映像(地震・洪水・津波・紛争・難破船)を拝聴し、災害が起こった時の支援方法を検証し、衣食住などの救援物資や医療の支援、ライフラインの整備などを各グループより発表して頂きました。インターアクトたちは、普段接することのない人たちと議論し意見交換する事で、協力して意見を出し合ったりリーダーシップをとってみんなの意見をまとめたりすることを出来ました。また、他の人と自分の発想の違いを感じ、考え方の幅を広げる良い機会になったことでしょう。

最後になりますが、今大会の設営準備・企画・講演会など、ご尽力を頂きました担当校、浪速高等学校中学校インターアクトクラブの皆様、顧問の先生方、それを支えて戴いております、ホストクラブ大阪帝塚山RC皆様、そしてインターアクト活動にご協力頂いてます全ての皆様に感謝と御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



地区ローターアクト 活動報告

ローターアクト 代表 **高橋 正洋**
(大阪淀川RAC)

1. 「米山×RAC 秋のスポーツ交流会」報告

横のつながりを広げる、同じロータリーのプログラムとして、世代も近い米山奨学生学友会とローターアクト(以下「RAC」と表記)が、今後共同奉仕事業が出来るよう、まずは互いを知り交流を深めるため、下記の通り「米山×RAC 秋のスポーツ交流会」が開催されました。

- 日時：2018年11月4日(日)
- 場所：服部緑地公園
- 参加者：47名(含家族)

初の試みは晴天に恵まれ、始めは互いにいつもと違う空気を感じ、やや緊張した会員もいましたが、秋晴れの空と、RAC・米山双方が考えた工夫が凝らされたスポーツのおかげで、すっかり打ち解けました。レジャーシートにお弁当を揚げ始めた昼食の際には参加者が自然と輪を作り、それぞれの活動に関する話やプライベートの話に至るまで和気藹々と交流することができました。



開会挨拶では米山学友会副会長の Ariff さんから「RAC と米山奨学生・学友会は世代も近く、同じロータリーのプログラムとして奉仕事業をしています。一緒に活動できれば、もっと可能性は広がる。そのきっかけになれば嬉しい」と言葉をいただきました。今回のような米山と RAC の繋がりを継続していく行事を開催していこうと考えています。

この交流会を契機に、米山奨学生学友会とクラブ単位での活動に発展したクラブもあり、ロータリーファミリーの横の繋がり、絆を深める良い一日となりました。



2. 「RAC 海外研修@タイ 事前オリエンテーション」報告

毎年 RAC では地区海外研修を行い、世界中のローターアクターやロータリーファミリーと共同奉仕事業を行っています。今年度は、2018年11月23日～26日まで、タイバンコクを訪問します。研修へ向けた事前オリエンテーションを行いました。

・第一回オリエンテーション

- 日時：2018年10月20日(土)
- 場所：PC-MS 心斎橋
- 参加ゲスト：タイ国政府観光庁大阪事務所 村井茉耶 様

・第二回オリエンテーション

- 日時：2018年11月10日(土)
- 場所：大淀コミュニティセンター
- 参加ゲスト：米山学友会 岡崎サシウィモン 様



RACの海外研修では、現地のRACやロータリーファミリーに直接RACから連絡し、プログラムの内容や、共同奉仕事業を検討するところから始まります。



オリエンテーションでは、海外研修参加予定者40名がチームに分かれて、タイの文化や、日本の強み、当地区のロータリー、ローターアクトの魅力再認識するため、チーム毎に違うテーマのプレゼンテーションを行います。内容は、各チーム工夫が凝らされており、現地で言語コミュニケーションが取れない場合を想定した、大阪を現すボディラングージの提言等もありました。



本年度のタイ海外研修では、国際ロータリー第3350地区(タイ バンコク)のRACとの交流に留まらず、共同奉仕事業としてタイの米山学友会と、サムットプラカーンバンブー保養地にてマングローブの植林プロジェクトを行う予定にしております。その注意点等を、日本在住のタイ米山学友岡崎サシウィモン様にお話いただきました。



事前オリエンテーションを活かし、タイの地でも未来につなぐ挑戦を体現してまいります。

第2640地区 地区大会 報告 RI会長代理 立野純三氏をお迎えして

第2640地区
代表幹事 **山本 進三**
(和歌山東RC)

2018年10月27日(土)28日(日)、ホテルグランヴィア和歌山において、第2640地区2018-19年度地区大会が開催されました。今回の地区大会を迎えるにあたり、第2640地区榎畑直尚ガバナーはRI会長代理として、第2660地区PGの立野純三氏をお迎えし、地区大会が盛大に開催されました。

地区大会の登録人数は2日間で1100名を超え、2日目の本会議ではホテルの会場がロータリー関係者で埋め尽くされました。和歌山県知事 仁坂吉伸氏が壇上でご挨拶をされた後、立野純三RI会長代理はご挨拶と共にRIの現況報告を説明されました。その主な内容は、日本の3ゾーンに関わるゾーン再編についての説明と、ロータリー財団が恒久基金として2025年までに20億2500万ドルを目指していること、2018年決議審議会における日本の決議案件数とその内容を詳しくご説明いただきました。現在のRIの状況と日本のロータリーの立ち位置、今後のRIのトレンドなどが分かりやすく地区内のロータリアンに伝えることができましたと思います。

第2640地区は近年までガバナーの問題を巡って地区内がまとまらず、混迷した状態が続いておりましたが、約3年の歳月をかけて正常化が進み、昨年度(2017-18年度)には殆ど落ち着いた状態で運営できるようになっておりました。2018-19年度はその歴代の努力を礎として、近年最も本格的な地区運営をスタートさせておりました。

その地区運営の集大成である地区大会が、立野純三PGをお迎えして盛会に終了することができたことは本当に喜ばしいことであります。この記念すべき大会をお祝いすると共に第2640地区を代表して立野純三氏に心からお礼を申し上げます。



2019年度 平和フェローの紹介

ロータリー財団委員会 奨学金小委員会 委員長
(ロータリー平和フェローシップ委員長兼任)

柳山 稔
(東大阪西RC)

平和は「人」から始まると考えるロータリーは、平和フェローシップ(奨学金)を通じて、世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。

毎年、世界中から選ばれる最高100人(修士：最高50名、専門能力開発修了証：最高50名)のフェローが、ロータリー平和センター提携大学(世界7大学)で学びます。フェローシップには、授業料・入学金の全額、滞在費(宿舍・食費)、往復航空券、インターンシップと実地体験の費用が含まれます。

平和フェローシップの申請者は、以下の要件を満たしている必要があります。

- ・優れた英語力。第二言語能力(日本語を含む)をもつことが推奨される
- ・国際理解と平和への熱意を実証
- ・優れたリーダーシップ
- ・修士号取得プログラム応募者には関連分野における少なくとも3年間のフルタイムの職歴またはボランティア経験。学士号。

さて、この世界競争性の狭き門である平和フェローシップに当地区を通じてお一人の方が応募され、地区より推薦を行い、厳正な選考の結果この度見事選抜されました。これは2002年の平和フェローシップ創設以来、当地区では2005年以来2人目となる選抜結果であり、第2660地区の皆様とこの喜びを共有致したく、ここにご報告申し上げます。

2019年度 平和フェロープロフィール

氏名：山口 真理子(やまぐち まりこ) 大阪府豊中市在住(元財団親善奨学生：2007年度)
留学先：Uppsala University(ウプサラ大学/スウェーデン)

これまで、早稲田大学(東京)、ジョージワシントン大学(アメリカ)で学び、国連大学(東京)、国連難民高等弁務官事務所(東京)、JICA(ケニア)、2016年からはユニセフ・カンボジアにて国連コミュニティ開発ボランティアとしてご活躍中です。

キャリア計画として、平和構築の研究を行うべく1477年創設された北欧最古の大学で、ヨーロッパの最も権威ある高等教育・研究機関の一つであり、平和と紛争研究において世界的拠点のひとつである研究所を擁している、スウェーデンのウプサラ大学で来年より学ばれます。



平和フェローは皆様からの財団寄付によって支えられております。国連機関をはじめ国際機関において貧困問題と平和構築の分野を包括的に取り込もうとする気運がある中で、この分野に従事できる人材として貢献しようとする山口さんを、どうぞ皆様にも知っていただき、引き続きご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

グローバル奨学生 近況報告

ロータリー財団 奨学金小委員会
委員長

柳山 稔
(東大阪西RC)

英国滞在中の2017-18年度 グローバル奨学生、高城大吾さんから近況報告が参りました。高城さんは、2011年から国際NGOで国内外で災害や紛争により被害・迫害を受けた人びとの支援に携わってこられていましたが、この実務経験を通して心理学を学ぶ重要性を実感されました。卒業後は、国際機関や支援団体において人道支援分野で平和構築を目指しています。

地区内ロータリアンの皆様には、今後ともグローバル奨学生へのご理解とご支援をお願い申し上げます。

2017-18年度
グローバル奨学生

高城 大吾



6重点分野：平和と紛争予防/解決

代表提唱クラブ：(RID2660) 東大阪RC および (RID1145) ブライトンRC

留学先：英国 サセックス大学（修士課程：実験心理学）

留学期間：2018年9月～2019年9月

英国に到着してから2か月が経ちました。大学院留学の状況についてご報告します。

私が通っているサセックス大学はブライトンという都市にあります。ブライトンは、首都ロンドンから50キロほどの距離に位置しており、海沿いのリゾート地として有名な都市です。

サセックス大学は、ブライトン市内からバスで20分ほどの距離にあります。キャンパス全体に芝生で覆われた場所があり、天気の良い日には、芝生に寝そべて勉強をする学生が沢山います。秋には、色とりどりのイチョウやモミジの葉が芝生に積もり英国特有の季節の切り替わりを感じることができます。

現地では、ブライトン・ロータリークラブの皆さまにお世話になっています。メンターを担当いただいているマークさんには何度も食事にお招きいただき、1913年から続くブライトンRCの活動や、ブライトン地域の歴史などについて魅力的なお話を伺っています。年末には、ブライトンRCの定例会議で、私の非営利団体での活動経験などについて発表する機会をいただけることになりました。

大学院では、前期は4教科を履修しています。講義のみでなく、演習や統計データ分析など、実践的な授業を受けています。一例ですが、発達心理学の演習では、子供の不安感情の推移や精神障害への発展について、最新の論文に基づいて議論をする機会がありました。議論を通して、因果関係を論じる学説の欠点に気づかされるなど、深い学びに繋がっています。卒業研究についても、今週から教授の指導を受け始めています。今後、過去研究を理解し、テーマを絞り込み具体的な研究デザインを作成する予定です。

11月8日には、英国心理学協会が主催する年次カンファレンスに参加しました。主に「偽情報が意思決定に与える影響」を主題とした会議で、偽情報の影響を受けやすい受取人の特性分析から、消防局での災害発生時の情報伝達への影響まで、幅広い分野について最先端の研究結果が発表されました。英国では、偽情報が総選挙にも影響を及

ぼした経緯もあり、偽情報は国防の一部として扱われていることが興味深かったです。また、ネットワーキングの場も設けられており、同分野を専門とする大学教授から直接意見を伺える貴重な機会となりました。

改めまして、大学院で学ぶ機会を与えてくださりありがとうございます。難易度の高いコースですが、奨学金をいただいたおかげで、集中して勉強に時間を費やすことができています。今後も勉強に励み、社会に還元できる専門性を身に付けたいと思います。



青少年交換学生終了証 (Certificate) について

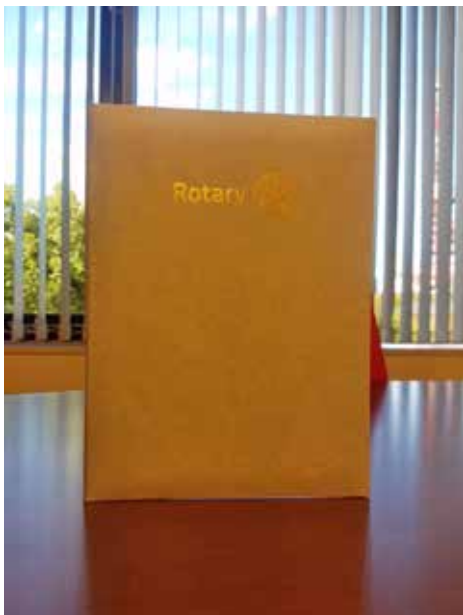
(社) RI日本青少年交換多地区合同機構
RIJYEM アドヴァイザー **近藤 真道**

昨今大学入試あるいは入社試験の際、勉強だけでなく一般社会での奉仕活動、あるいは多様な社会活動経験の経歴が要求されることが多くなってきています。ロータリーの青少年交換プログラムの目的は留学制度でなく国際親善大使として他国で一年間、あるいは数か月間語学の習得はもちろん、派遣先国・地域において広く文化交流をはじめ勉強・社会奉仕活動をすることが目的で、このような長期システムは民間組織としてはロータリーしかありません。

それら、ロータリー青少年交換を終えた学生・ROTEXから一般社会に通用する「修了証明書」の発行依頼が寄せられるようになってきました。それらの要望に応えるべく今般RIJYEMで当該理事長のサインをした終了証明書を発行することになりました。これらはそれぞれの地区から要望があればRIJYEMが発行します。尚それぞれの地区ガバナーも裏書サインができるようになっています。

添付写真のものは、一部2000円で作成提供できます。オクトン製ホルダーが1700円と高く印刷代、送料を含めると2000円を若干越えることもあります。現在もう少し安価なものもできないか討中中です。

D2660でもすでに山本ガバナーから賛同の意見を頂戴しています。当該年度帰国学生だけにとどまらず過去の帰国学生への発行も可能とも考えられます。この証明書を有効に活用していただきたく存じます。



月信購読に関するアンケート結果

地区代表幹事 **宮里 唯子**
(茨木西RC)

2018年10月に地区内クラブをお願いを致しました「ガバナー月信購読に関するアンケート」の集計結果を御報告申し上げます。回答頂きましたクラブの皆様には、御協力に感謝致します。

ガバナー月信は地区とクラブをつなぎ、常に新しい情報を共有するための重要なツールですが、この度の調査では、多くのクラブに月信の重要性をご理解頂き、メールやファックスなどで全会員が購読できるよう工夫頂いており、さらには例会や理事会で取り上げる、週報に掲載するなどご活用頂いていることがわかり編集委員会一同、クラブの会長はじめ事務局皆様のご配慮に感謝申し上げます次第です。

一方、配信はしないけれどもコピー出力のうえ例会場で閲覧用に準備頂いたり、クラブのウェブサイトに掲載頂いているクラブもございますが、会員皆様が積極的に購読されているかどうか、購読率をさらに高めるためにやり方を変える必要はないかどうか、今一度御検討頂ければ幸甚でございます。

今後ともガバナー月信委員会といたしましては、皆様クラブにとって有益な情報を掲載して参りますので、何卒さらなる購読推進に御力添えのほどお願い申し上げます。

ガバナー月信購読に関するアンケート調査結果

× … 未回答

クラブ名	会員へ配布しますか			クラブで月信を活用しますか	
	全員	一部会員のみ	配布しない	する	しない
池田	○			○	
池田くれは	○			○	
箕面	○			○	
箕面千里中央	○			○	
大阪水都	○			○	
大阪中央	○			○	
大阪北梅田	○			○	
大阪北		○		○	
大阪大淀	○			○	
大阪そねざき	○			○	
大阪梅田	○				○
大阪梅田東		○		○	
豊中			○	×	×
豊中千里	○			○	
豊中南	○			○	
茨木	○			○	
茨木東		○			○
茨木西	○			○	
大阪東淀ちゃやまち		○		○	
大阪淀川	○			○	
千里	○			○	
千里メイプル	○				○
摂津		○		○	
新大阪	○				○
吹田		○			○
吹田江坂	○			○	
吹田西	○				○
高槻		○		○	
高槻東	○				○
高槻西	○			○	
大東	○			○	
大東中央	○			○	
枚方	○			○	



クラブ名	会員へ配布しますか			クラブで月信を活用しますか	
	全員	一部会員のみ	配布しない	する	しない
門真	○				○
交野	○			○	
香里園		○		○	
くずは		○		○	
守口		○			○
守口イブニング	○			○	
寝屋川		○		○	
大阪東	○			○	
大阪城東	○				○
大阪城北	○			○	
大阪鶴見	○			○	
東大阪	○			○	
東大阪東	○			○	
東大阪西			○		○
東大阪中央			○		○
東大阪みどり		○		○	
大阪柏原		○		○	
大阪御堂筋本町	○			○	
大阪難波			○	○	
大阪なにわ	○			○	
大阪ネクスト	○			○	
大阪南	○			○	
八尾		○		○	
八尾中央	○			○	
八尾東	○			○	
大阪堂島	○			○	
大阪フレンド	○			○	
大阪みおつくし	×	×	×	×	×
大阪西北	○			○	
大阪川`-サイト`	○			○	
大阪船場			○		○
大阪心斎橋	○			○	
大阪西南		○		○	
大阪ユニバーサルシティ	○			○	
大阪アーバン	○			○	
大阪うつぼ	○				○
大阪西		○		○	
大阪			○	○	
大阪イブニング	○			○	
大阪平野		○			○
大阪城南	○			○	
大阪中之島	○			○	
大阪大手前	○			○	
大阪咲洲		○			○
大阪東南		○		○	
大阪天満橋		○		○	
大阪天王寺		○		○	
大阪帝塚山	○			○	

アンケート集計結果

クラブ事務局から会員全員に配信しているクラブ(メール、ファックス、コピーなど)	52クラブ
クラブ事務局から一部会員だけに配信しているクラブ(会長、幹事、理事、希望者など)	21クラブ
クラブ事務局から会員に全く配信しないクラブ	6クラブ
月信を活用しているクラブ(例会や理事会で取り上げる、週報に掲載するなど)	62クラブ
月信を全く活用しないクラブ	16クラブ
未回答クラブ	2クラブ



2018-19年度 国際ロータリー 第2660地区 MY ROTARY 登録状況 [2018年11月度]

クラブ名	会員数	登録人数	%
池田	31	29	93.5%
池田くれは	33	33	100.0%
箕面	30	19	63.3%
箕面千里中央	22	8	36.4%
大阪水都	42	12	28.6%
大阪中央	47	47	100.0%
大阪北梅田	65	29	44.6%
大阪北	190	122	64.2%
大阪大淀	40	22	55.0%
大阪そねざき	30	12	40.0%
大阪梅田	35	13	37.1%
大阪梅田東	36	29	80.6%
豊中	36	25	69.4%
豊中千里	38	14	36.8%
豊中南	21	13	61.9%
合計	696	427	61.4%

クラブ名	会員数	登録人数	%
茨木	29	17	58.6%
茨木東	37	2	5.4%
茨木西	29	25	86.2%
大阪東淀ちゃやまち	25	8	32.0%
大阪淀川	27	5	18.5%
千里	31	17	54.8%
千里メイプル	20	5	25.0%
摂津	35	8	22.9%
新大阪	34	28	82.4%
吹田	60	55	91.7%
吹田江坂	28	13	46.4%
吹田西	49	48	98.0%
高槻	51	41	80.4%
高槻東	37	23	62.2%
高槻西	19	16	84.2%
合計	511	311	60.9%

クラブ名	会員数	登録人数	%
大東	39	22	56.4%
大東中央	20	6	30.0%
枚方	50	18	36.0%
門真	32	9	28.1%
交野	35	13	37.1%
香里園	15	8	53.3%
くずは	80	80	100.0%
守口	43	14	32.6%
守口イブニング	24	2	8.3%
寝屋川	39	6	15.4%
大阪東	126	69	54.8%
大阪城東	37	17	45.9%
大阪城北	57	34	59.6%
大阪鶴見	34	27	79.4%
合計	631	325	51.5%

クラブ名	会員数	登録人数	%
東大阪	74	48	64.9%
東大阪東	64	42	65.6%
東大阪西	30	5	16.7%
東大阪中央	18	17	94.4%
東大阪みどり	23	6	26.1%
大阪柏原	27	11	40.7%
大阪御堂筋本町	46	25	54.3%
大阪難波	58	30	51.7%
大阪なにわ	14	3	21.4%
大阪ネクスト	27	17	63.0%
大阪南	179	145	81.0%
八尾	62	33	53.2%
八尾中央	12	8	66.7%
八尾東	27	5	18.5%
合計	661	395	59.8%

クラブ名	会員数	登録人数	%
大阪堂島	40	24	60.0%
大阪フレンド	13	6	46.2%
大阪みおつくし	8	7	87.5%
大阪西北	41	15	36.6%
大阪リバーサイド	33	30	90.9%
大阪船場	37	25	67.6%
大阪心斎橋	40	26	65.0%
大阪西南	113	73	64.6%
大阪ユニバーサルシティ	34	27	79.4%
大阪アーバン	28	28	100.0%
大阪うつぼ	37	29	78.4%
大阪西	102	54	52.9%
合計	526	344	65.4%

クラブ名	会員数	登録人数	%
大阪	271	59	21.8%
大阪イブニング	15	8	53.3%
大阪平野	49	42	85.7%
大阪城南	47	19	40.4%
大阪中之島	34	32	94.1%
大阪大手前	28	6	21.4%
大阪咲洲	18	4	22.2%
大阪東南	34	26	76.5%
大阪天満橋	52	20	38.5%
大阪天王寺	48	26	54.2%
大阪帝塚山	45	25	55.6%
合計	641	267	41.7%

	会員数	登録人数	%
2018年 11月 20日	3666	2069	56.4%



米山奨学委員会／ロータリー財団

■地区米山奨学委員会より

2018年9月末	全国寄付金合計額	387,355,455円 (前年度比 5%減)																				
//	第2660地区寄付金合計額	18,913,250円 (前年度比 19%減)																				
2018年9月末	全国寄付合計トップ10	<table border="0"> <tr> <td>1. 第2650地区</td> <td>27,008,122円</td> <td>6. 第2700地区</td> <td>18,748,500円</td> </tr> <tr> <td>2. 第2770地区</td> <td>25,485,320円</td> <td>7. 第2590地区</td> <td>18,288,500円</td> </tr> <tr> <td>3. 第2750地区</td> <td>25,379,826円</td> <td>8. 第2580地区</td> <td>17,252,750円</td> </tr> <tr> <td>4. 第2760地区</td> <td>23,194,750円</td> <td>9. 第2790地区</td> <td>15,870,711円</td> </tr> <tr> <td>5. 第2660地区</td> <td>18,913,250円</td> <td>10. 第2690地区</td> <td>13,647,500円</td> </tr> </table>	1. 第2650地区	27,008,122円	6. 第2700地区	18,748,500円	2. 第2770地区	25,485,320円	7. 第2590地区	18,288,500円	3. 第2750地区	25,379,826円	8. 第2580地区	17,252,750円	4. 第2760地区	23,194,750円	9. 第2790地区	15,870,711円	5. 第2660地区	18,913,250円	10. 第2690地区	13,647,500円
1. 第2650地区	27,008,122円	6. 第2700地区	18,748,500円																			
2. 第2770地区	25,485,320円	7. 第2590地区	18,288,500円																			
3. 第2750地区	25,379,826円	8. 第2580地区	17,252,750円																			
4. 第2760地区	23,194,750円	9. 第2790地区	15,870,711円																			
5. 第2660地区	18,913,250円	10. 第2690地区	13,647,500円																			

■米山功労者 次の方たちに米山功労者の称号が贈られました(2018年9月)。

氏名	回数	クラブ名
荒川 雅行	4	大阪御堂筋本町
久我 四郎	5	大阪御堂筋本町
坂中 良郎	6	大阪御堂筋本町
柴崎 秀樹	2	大阪西北
早瀬 道圓	19	大阪中之島
北村 讓	8	大阪中之島
小中 義博	10	大阪東
守谷 承弘	1	大阪東
西宮 宣之	2	大阪東
吉永 深	2	大阪東
辰野 久夫	3	大阪東
壺山 和憲	4	大阪東
檜崎 正博	5	大阪東
数井 康幸	1	大阪難波
出村 太一	1	大阪難波
三島 敏宏	1	大阪難波

氏名	回数	クラブ名
森 圭司	2	大阪難波
川口 栄計	2	大阪難波
井上 満昭	2	大阪難波
石川 益三	2	大阪難波
伊藤 仁	2	大阪難波
伴井 敬司	2	大阪難波
遠藤 友一郎	2	大阪難波
岡西 豊博	2	大阪難波
荻原 奨	2	大阪難波
西野 文秀	2	大阪難波
西原 芳博	2	大阪難波
夏 明義	2	大阪難波
菰田 吉見	2	大阪難波
白野 陽一	3	大阪難波
神田 眞晃	3	大阪難波
徐 正菜	3	大阪難波

氏名	回数	クラブ名
千田 忠司	4	大阪難波
桜井 明	4	大阪難波
谷口 勉	4	大阪難波
吉田 尚司	4	大阪難波
北橋 茂登志	4	大阪難波
久保 幸一	4	大阪難波
原田 直己	4	大阪難波
段 為梁	4	大阪難波
山田 誠一	5	大阪難波
大地 庸元	5	大阪難波
小島 治	5	池田
島田 直彌	3	東大阪西
吉川 宏	2	東大阪東
藤本 良男	2	東大阪東
大橋 秀典	5	東大阪東
奥林 繁一	7	東大阪東

■米山功労クラブ 次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました(2018年9月)。

クラブ名	回数
大阪御堂筋本町RC	46
大阪西北RC	46

クラブ名	回数
大阪東RC	103
大阪難波RC	57

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです(2018年9月)。

氏名	回数	クラブ名
川面 智義	1	高槻
浅井 晃	2	大阪城南

氏名	回数	クラブ名
檜崎 正博	3	大阪東
堀 隆	8	大阪東

氏名	回数	クラブ名
北村 讓	5	大阪中之島

■ベネファクター 次の方にベネファクターの称号が贈られました(2018年9月)。

氏名	クラブ名
田中 隆弥	池田くれは
岡西 豊博	大阪難波



2018-19年度 米山奨学会 寄付状況

2018年9月末日現在

クラブ名	普通寄付	特別寄付	合計	会員数 (7月1日)	寄付者数 (特別寄付)		特別 寄付者 割合	個人平均 寄付額
					個人	法人		
大阪中之島	145,000	755,000	900,000	29	0	0	100.0%	31,034
大阪御堂筋本町	110,000	845,000	955,000	44	0	0	95.5%	21,704
大阪難波	174,000	1,050,000	1,224,000	58	0	0	94.8%	21,103
東大阪西	46,500	550,000	596,500	31	0	0	64.5%	19,241
守口	86,000	691,000	777,000	43	0	0	100.0%	18,069
池田	124,000	429,000	553,000	31	0	0	90.3%	17,838
池田くれは	155,000	300,000	455,000	31	0	0	9.7%	14,677
大阪東	351,000	1,360,000	1,711,000	117	0	0	106.8%	14,623
大阪淀川	135,000	270,000	405,000	28	0	0	96.4%	14,464
茨木西	72,500	290,000	362,500	27	0	0	107.4%	13,425
東大阪東	310,000	420,000	730,000	62	0	0	14.5%	11,774
茨木	300,000	10,000	310,000	28	0	0	3.6%	11,071
大阪城東	92,500	300,000	392,500	37	0	0	27.0%	10,608
大阪大淀	100,000	280,000	380,000	40	0	0	80.0%	9,500
大阪西北	105,000	280,000	385,000	42	0	0	31.0%	9,166
豊中千里	138,750	100,000	238,750	37	0	0	2.7%	6,452
大阪大手前	168,000	0	168,000	27	0	0	0%	6,222
大阪北	1,134,000	0	1,134,000	188	0	0	0%	6,031
豊中	216,000	0	216,000	36	0	0	0%	6,000
大阪リバーサイド	160,000	0	160,000	31	0	0	0%	5,161
枚方	250,000	0	250,000	49	0	0	0%	5,102
千里メイプル	100,000	0	100,000	20	0	0	0%	5,000
香里園	30,000	45,000	75,000	15	0	0	100.0%	5,000
大阪咲洲	90,000	0	90,000	18	0	0	0%	5,000
新大阪	85,000	83,000	168,000	34	0	0	47.1%	4,941
大阪	645,000	390,000	1,035,000	258	0	0	5.0%	4,011
高槻東	152,000	0	152,000	38	0	0	0%	4,000
大阪南	680,000	0	680,000	170	0	0	0%	4,000
大阪そねざき	101,500	0	101,500	29	0	0	0%	3,500
大阪船場	114,000	0	114,000	36	0	0	0%	3,166
くずは	222,000	0	222,000	74	0	0	0%	3,000
大阪梅田東	0	100,000	100,000	37	0	0	2.7%	2,702
八尾	155,000	0	155,000	58	0	0	0%	2,672
大阪北梅田	162,500	0	162,500	63	0	0	0%	2,579
摂津	85,000	0	85,000	33	0	0	0%	2,575
交野	87,500	0	87,500	34	0	0	0%	2,573
大阪城北	137,500	0	137,500	54	0	0	0%	2,546
大阪西	252,500	0	252,500	100	0	0	0%	2,525
箕面	72,500	0	72,500	29	0	0	0%	2,500
箕面千里中央	52,500	0	52,500	21	0	0	0%	2,500
茨木東	92,500	0	92,500	37	0	0	0%	2,500
千里	72,500	0	72,500	29	0	0	0%	2,500



クラブ名	普通寄付	特別寄付	合計	会員数 (7月1日)	寄付者数 (特別寄付)		特別 寄付者 割合	個人平均 寄付額
					個人	法人		
吹田	152,500	0	152,500	61	0	0	0%	2,500
吹田江坂	67,500	0	67,500	27	0	0	0%	2,500
吹田西	120,000	0	120,000	48	0	0	0%	2,500
高槻	127,500	0	127,500	51	0	0	0%	2,500
高槻西	47,500	0	47,500	19	0	0	0%	2,500
大東中央	50,000	0	50,000	20	0	0	0%	2,500
守口イブニング	57,500	0	57,500	23	0	0	0%	2,500
東大阪	182,500	0	182,500	73	0	0	0%	2,500
東大阪中央	45,000	0	45,000	18	0	0	0%	2,500
東大阪みどり	52,500	0	52,500	21	0	0	0%	2,500
大阪柏原	67,500	0	67,500	27	0	0	0%	2,500
八尾中央	30,000	0	30,000	12	0	0	0%	2,500
八尾東	67,500	0	67,500	27	0	0	0%	2,500
大阪中央	115,000	0	115,000	46	0	0	0%	2,500
大阪梅田	82,500	0	82,500	33	0	0	0%	2,500
大阪ユニバーサルシティ	85,000	0	85,000	34	0	0	0%	2,500
大阪東淀ちゃやまち	62,500	0	62,500	25	0	0	0%	2,500
大阪鶴見	85,000	0	85,000	34	0	0	0%	2,500
大阪フレンド	52,500	0	52,500	21	0	0	0%	2,500
大阪なにわ	35,000	0	35,000	14	0	0	0%	2,500
大阪西南	272,500	0	272,500	109	0	0	0%	2,500
大阪心斎橋	95,000	0	95,000	38	0	0	0%	2,500
大阪うつぼ	90,000	0	90,000	36	0	0	0%	2,500
大阪平野	110,000	0	110,000	44	0	0	0%	2,500
大阪イブニング	37,500	0	37,500	15	0	0	0%	2,500
大阪城南	115,000	0	115,000	46	0	0	0%	2,500
大阪東南	85,000	0	85,000	34	0	0	0%	2,500
大阪アーバン	72,500	0	72,500	29	0	0	0%	2,500
大阪堂島	95,000	0	95,000	39	0	0	0%	2,435
大阪水都	45,000	0	45,000	45	0	0	0%	1,000
豊中南	0	0	0	21	0	0	0%	0
大東	0	0	0	38	0	0	0%	0
門真	0	0	0	30	0	0	0%	0
寝屋川	0	0	0	39	0	0	0%	0
大阪ネクスト	0	0	0	27	0	0	0%	0
大阪みおつくし	0	0	0	8	0	0	0%	0
大阪天満橋	0	0	0	50	0	0	0%	0
大阪帝塚山	0	0	0	43	0	0	0%	0
大阪天王寺	0	0	0	46	0	0	0%	0
合計	10,365,250	8,548,000	18,913,250	3,574	0	0	14.3%	5,291



2018年10月度 会員数・出席報告

I-M組	クラブ名	7月期 初会員 数	10月末会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例 会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I-M第1組	池田	31	31	2	0	0	0	3	86.58	74.71
	池田くれは	31	33	5	2	0	2	3	96.81	91.53
	箕面	29	30	3	1	0	1	4	83.89	78.19
	箕面千里中央	21	22	4	1	0	1	4	87.29	84.90
	大阪水都	45	42	15	4	7	-3	2	79.76	67.85
	大阪中央	46	47	5	1	0	1	4	83.51	74.52
	大阪北梅田	63	65	7	2	0	2	4	71.30	57.36
	大阪北	188	190	0	4	2	2	5	75.43	57.42
	大阪大淀	40	40	0	0	0	0	4	89.58	80.56
	大阪そねざき	29	29	20	0	0	0	4	86.23	77.85
	大阪梅田	33	35	7	2	0	2	4	86.43	75.16
	大阪梅田東	37	36	0	0	1	-1	4	80.16	69.22
	豊中	36	36	2	0	0	0	4	78.93	66.88
	豊中千里	37	37	4	0	0	0	4	78.42	73.21
	豊中南	21	21	2	0	0	0	4	80.72	77.96
小計	687	694	76	17	10	7		83.00	73.82	
I-M第2組	茨木	28	29	4	2	1	1	4	83.38	74.63
	茨木東	37	37	5	0	0	0	4	77.56	60.12
	茨木西	27	29	5	2	0	2	4	92.24	88.57
	大阪東淀ちゃやまち	25	25	3	0	0	0	3	94.54	88.05
	大阪淀川	28	27	5	0	1	-1	4	83.32	63.41
	千里	29	31	2	2	0	2	4	78.18	67.58
	千里メイプル	20	20	4	0	0	0	4	83.33	78.21
	摂津	33	35	3	2	0	2	4	84.08	69.84
	新大阪	34	34	1	0	0	0	4	87.23	83.23
	吹田	61	60	8	0	1	-1	4	97.80	88.11
	吹田江坂	27	28	1	1	0	1	4	98.15	89.64
	吹田西	48	48	2	0	0	0	4	100.00	87.59
	高槻	51	51	6	0	0	0	4	95.20	85.03
	高槻東	38	37	2	0	1	-1	4	93.01	87.12
	高槻西	19	19	0	0	0	0	4	97.37	86.84
小計	505	510	51	9	4	5		89.69	79.86	
I-M第3組	大東	38	39	0	2	1	1	3	96.87	78.59
	大東中央	20	20	10	0	0	0	4	88.20	77.20
	枚方	49	50	1	2	1	1	4	80.97	68.82
	門真	30	32	6	2	0	2	3	80.77	67.82
	交野	34	35	1	1	0	1	4	86.02	70.03
	香里園	15	15	0	0	0	0	3	92.85	80.94
	くずは	74	80	2	6	0	6	4	67.37	56.84
	守口	43	43	5	0	0	0	3	73.38	68.61
	守口イブニング	23	24	5	1	0	1	3	81.94	76.39
	寝屋川	39	39	4	0	0	0	4	81.85	75.78
	大阪東	117	125	0	8	0	8	4	91.75	76.40
	大阪城東	37	37	7	0	0	0	4	82.79	74.59
	大阪城北	54	56	5	2	0	2	4	85.33	67.73
	大阪鶴見	34	34	3	0	0	0	4	83.94	76.32
	小計	607	629	49	24	2	22		83.86	72.58

I-M組	クラブ名	7月期 初会員 数	10月末会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例 会 数	出席率	ホームクラブ 出席率	
			全員	女性							
I-M第4組	東大阪	73	74	0	1	0	1	4	85.26	75.89	
	東大阪東	62	64	4	2	0	2	4	77.63	63.58	
	東大阪西	31	30	0	1	2	-1	4	91.34	82.40	
	東大阪中央	18	18	0	0	0	0	3	98.14	92.38	
	東大阪みどり	21	23	0	2	0	2	5	68.14	59.29	
	大阪柏原	27	27	2	0	0	0	3	92.30	92.30	
	大阪御堂筋本町	44	46	3	2	0	2	4	89.98	67.58	
	大阪難波	58	58	0	0	0	0	4	77.28	69.01	
	大阪なにわ	14	14	2	0	0	0	4	83.33	79.16	
	大阪ネクスト	27	27	8	0	0	0	4	60.18	57.40	
	大阪南	170	179	7	10	1	9	5	82.02	66.79	
	八尾	58	62	0	4	0	4	5	83.19	81.43	
	八尾中央	12	12	0	0	0	0	4	81.82	75.00	
	八尾東	27	27	1	0	0	0	4	85.52	79.38	
	小計	642	661	27	22	3	19		82.58	74.40	
I-M第5組	大阪堂島	39	40	3	2	1	1	2	82.50	75.00	
	大阪フレンド	21	13	3	1	9	-8	3	91.07	76.79	
	大阪みおつくし	8	15	7	7	0	7	2	60.00	53.33	
	大阪西北	42	40	0	0	2	-2	4	91.55	77.54	
	大阪リバーサイド	31	33	6	2	0	2	4	99.19	75.43	
	大阪船場	36	37	0	2	1	1	4	94.00	82.25	
	大阪心斎橋	38	39	0	1	0	1	4	94.80	80.97	
	大阪西南	109	112	32	4	1	3	5	84.76	65.84	
	大阪ユニバーサルシティ	34	34	4	0	0	0	4	80.88	71.32	
	大阪アーバン	29	28	5	0	1	-1	4	80.36	75.89	
	大阪うつぼ	36	37	4	1	0	1	4	91.15	89.29	
	大阪西	100	102	0	3	1	2	4	83.77	73.63	
	小計	523	530	64	23	16	7		86.17	74.77	
	I-M第6組	大阪	258	272	2	14	0	14	4	69.40	54.04
		大阪イブニング	15	15	3	0	0	0	4	81.67	70.00
大阪平野		44	49	2	5	0	5	4	97.73	83.96	
大阪城南		46	47	0	1	0	1	4	100.00	84.35	
大阪中之島		29	34	1	5	0	5	4	95.30	82.03	
大阪大手前		27	28	4	1	0	1	4	83.54	79.73	
大阪咲洲		18	18	1	1	1	0	5	85.55	81.10	
大阪東南		34	34	1	0	0	0	5	75.88	67.67	
大阪天満橋		50	51	0	1	0	1	4	88.29	82.84	
大阪天王寺		46	48	1	2	0	2	4	89.31	82.02	
大阪帝塚山		43	45	4	2	0	2	4	85.21	78.49	
小計		610	641	19	32	1	31		86.53	76.93	

合計	クラブ名	7月期 初会員 数	10月末会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例 会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
	81	3,574	3,665	286	127	36	91		85.3	75.4

Rotary Zones 1 & 2 & 3  コーディネーター NEWS 2018年12月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリー・ロータリー・ロータリー
ロータリー・公共イメージ・ロータリー

■ 「ロータリアンの顔の見える、ストーリーのある住民参加の広報活動」

第3ゾーン・RPIC部門戦略計画において、第3ゾーン2018-19年度の目標を一番目にロータリー公共イメージと認知度の向上：マスメディア・地方広報機関・SNSで推進、二番目に「My ROTARY」への登録率60%の達成、三番目に「ロータリークラブ・セントラル」への各クラブ活動Dataの定期的入力と開示の推進を掲げた。



2730地区の2016年6月末でのMy ROTARYの登録率は14.54%と低迷していた。そこで、クラブ戦略計画に対する取り組みの状況と公共イメージ向上への対応を分析して、地区としてどのようにクラブ強化のサポートが出来るのかを提言する目的で各クラブ役員に公共イメージ向上のアンケート調査をしました。65クラブ中57クラブから回答があり回答率は87.76%でした。このことから公共イメージに対する関心の高さがうかがえました。しかし、戦略計画委員会を設置しているクラブが28%と低いことがわかりました。



公共イメージ向上のために地域社会が必要としている奉仕活動を「クラブとして、何かしていますか。又は、見直しをしていますか」の問いに対して87.7%のクラブが「はい」でした。

「2017-18年度の活動をマスコミなどで報道されたことがありますか」の問いに対して73.7%のクラブが「はい」と高い回答率でした。

「2018-19年度のロータリー賞へのチャレンジを予定していますか」の間には、「はい」が35.1%で「いいえ」が57.9%となっていた。

「世界を変える行動人」キャンペーンを知っていますかについてはよく知っている5.3%、聞いたことがある43.9%、知らない47.4%でした。

これらのデータから、My ROTARYのラーニングセンターやロータリークラブ・セントラルをもっと活用し、戦略計画と公共イメージに対する認識と理解を深め、そして、「地元を変える行動人」の推進を強く感じました。

ロータリーの奉仕活動には有形無形のものがあります。

今後の地域での広報の在り方については地域住民も巻き込み、ストーリーの伝えられるロータリアンの顔が見えることが必要だと思います。また、持続可能な積極的参加の出来る内容と仕組み、仕掛けづくりを検討することによって多様性のある広報手段で、公共イメージ向上に繋がると思います。

第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 山下皓三（鹿児島西RC）

■ 「ロータリーの情報伝達経路の不備」

九州4地区担当のロータリーコーディネーター補佐を務めて2年目になります。働きかけの相手が自分の地区だけでなく他の3地区も含まれるので、あまり手を広げても抽象論に終わる可能性があるため、会員増強だけに絞って取り組みました。一般に会員数は期首から増加し、12月、3月、6月に減少し、殊に6月末には多数の退会者があるので、期首からの増加だけを見ても期末の会員数を推定することは困難です。一方、前年同月との比較を見ると、期末の増減が比較的早期に推定できます。そこで、九州4地区の過去5年間の前年同月の比較の統計に加えて当該年度のデータを毎月末にガバナーに送付して、地区の会員増強の参考にしてもらう試みをしました。その効果があつてかどうか、九州4地区で合計82名の純増になりました。今年度はガバナーに加えて地区幹事と地区会員増強委員長にも送付しています。

ところで、私が地区ガバナーに伝えた情報が各クラブの会長やクラブ会員増強委員長を経てさらにクラブ会員にまで伝達されているかどうか気がなります。同様に、RI会長の活動方針がロータリーの真の実力者であるクラブ会員まで浸透しているかどうかです。当地区では、ロータリーの本質は例会出席、親睦、職業奉仕、陰徳であるという説が広く信じられており、数年前のロータリー研究会で、「例会なくして親睦なし 親睦なくして奉仕なし」とのスローガンが他地区から声高に述べられました（中核的価値観の親睦をご一読願います）。そのような雰囲気数十年前どっぷりとつかっていた会員がクラブ会長になり、やがてガバナーになった場合、「国際ロータリーは世界有数の国際人道支援団体である」という見識を持ったRI会長の意向が、GETSや国際協議会などの短期集中研修を行ってはいませんが、誤解なく受け入れられているだろうか。これに関して、今年度の私の地区のガバナーメッセージ「寛容と思いやり そして和の心」が月信の表紙に大きく印刷されており、その下に小さな活字で国際ロータリーのテーマ「インスピレーションになろう」が書いてあります。これは手続要覧の趣旨とは異なるだけでなく、ガバナーの役割が問われるように思います。

このような状況で、ARCの私のお勧めがどの程度地区ガバナーに受け入れられるかやや不安もありますが、会員増強はクラブの存続にもかかわることが比較的分かり易いのですが、財団への寄附や公共イメージと認知度の向上などの活動についてガバナーのリーダーシップがどの程度発揮されるか心もとない点があるように思います。

第3ゾーンロータリーコーディネーター補佐 穴井元昭（博多RC）

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース



2018.11.13

ハイライトよねやま

Vol.224

2019 学年度奨学金申し込み状況

2019 学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士／地区奨励）には、指定校 539 校（「地区を超えた指定校」の重複含む。前年度 534 校）から 1,384 人（1,355 人）が推薦されました。被推薦者の国籍・地域は、中国 50.9%（53.5%）、ベトナム 13.2%（11.7%）、韓国 9.3%（9.4%）、そのほか、台湾、ネパール、マレーシア、インドネシアの順となっています。ベトナムは昨年と同様、申し込み段階で韓国を越えて、国籍別の第 2 位となりました。

被推薦者の奨学金別応募状況は、博士課程 21.2%（20.5%）、修士課程 37.9%（42.7%）、学部課程 38.7%（35.0%）、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、8 地区 13 校から計 32 人の応募がありました。

11 月中旬に各地区へ応募書類を郵送し、1 月末日までに地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、新規・継続合わせて 2019 学年度奨学生 850 人枠（2018 年 11 月現在）が決定します。

大学とロータリーとの交流を — 第 2580 地区 —



11 月 8 日、第 2580 地区（東京都）米山奨学委員会が主催する三者懇親会が開催されました。これは、奨学生・カウンセラー・指導教官ら大学関係者が一堂に会し交流を深めるためのもので、今年は総勢 100 人が参加しました。

まず、奨学生とカウンセラーがそれぞれ別室でグループディスカッションを行い、日常の疑問点や奨学生としてやってみたいことなどを話し合っ、グループごとに発表。続いて大学関

係者が合流し、第 2620 地区学友会のラシタ・エリヤーワ・アサンカ会長（スリランカ／2006-07／甲府南 RC：現在同クラブ会員）が、奨学生時代のエピソードや夢を実現する意思を持つ大切さ、学友会活動やロータリアンになること等、現役奨学生たちの模範となる話を披露しました。その後は会場を移

し、指導教官とカウンセラーが飲食を共にしながら奨学生の日常について話し合ったり、奨学生がひと言スピーチをしたりしました。

同地区の比留間孝司委員長は「奨学生やカウンセラーがそれぞれ顔を合わせて意見交換するだけでなく、大学関係者と交流できる意義は非常に大きい。当地区の伝統としてこれからも続けていきたい」と、話しました。

寄付金速報 — 米山月間のご支援に感謝いたします —

10 月までの寄付金は前年同期と比べて 4.4% 減（普通寄付金：0.3% 増、特別寄付金：7.6% 減）約 2,480 万円の減少となりました。前年度が当財団設立 50 周年ということもあり、前年度比では減少幅が大きくなっていますが、寄付

累計額としてはほぼ例年並みで推移しています。学友、ロータリアンの皆様からのご寄付に心より厚く御礼申し上げます。上期も残り 2 カ月を切りましたが、今後ともご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

ホームカミングで来日！学友が地区大会スピーチ

第2780地区 10月14日、茅ヶ崎市で開催された第2780地区（神奈川県）の地区大会2日目本会議で、台湾米山学友の徐重仁さん（1976-77／平塚RC／台北東海RC創立会長）が25分間の記念講演を行いました。日本留学中に会ったコンビニエンスストアを台湾に初めて導入し、“台湾流通業の父”と呼ばれる徐さんのこれまでの軌跡と感謝の思いのこもったスピーチに、会場からは惜しめない拍手が送られました。



また当日は、友愛コーナーに「米山お茶サービス」の広いブースが設けられ、奨学生・学友がそれぞれの母国のお茶やお菓子でロータリアンをもてなし、大盛況でした。

また当日は、友愛コーナーに「米山お茶サービス」の広いブースが設けられ、奨学生・学



第2550地区 10月28日、栃木県宇都宮市で開催された地区大会本会議で、カンボジアから来日した米山学友、サ・ソチアさん（2009-11／宇都宮東RC）がスピーチをしました。ソチアさんは母国パニャサストラ大学で教鞭をとる傍ら、日本語・ビジネス研修センター所長をつとめています。将来はカンボジアに米山学友会、また、ロータリークラブを設立したいと目標を語り、会場から大きな拍手を受けました。なお、会場外では、現役奨学生の研究内容をまとめたパネル展示があり、ロータリアンは次々と足を止めて、奨学生たちの説明に耳を傾けていました。



この「研究発表」は今年で3年目、奨学生同士にとっても互いに良い刺激になっているということです。

田中作次奨学金 — ミャンマー米山学友会 —

ミャンマー米山学友会では、元国際ロータリー会長の田中作次氏からの寄付金を基金とし、「田中作次奨学金」を設立して、日本語を学ぶミャンマーの貧しい学生へ奨学支援をしています。

10月14日、2年目となる同奨学金の贈呈式がKyoshin JETC日本語学校で行われ、今年は4つの日本語学校で学ぶ学生15人に、1人20万チャット（約14,500円）が授与されまし

た。第1期生の中には、実習生として、また介護福祉士を目指して来日したり、学友が経営する日本語学校で働くなど日本に関わる夢に向かって進んでいるとのこと。



もうすぐ締切

普通寄付金 申告用領収書の申請は11月末まで！

普通寄付金分の確定申告用領収証の申請期限は11月30日です。当会ホームページのメニュー、

寄付金について → 「普通寄付金：申告用領収書の申請はこちら」からお手続きください。

特別寄付金については来年1月下旬、自動的にクラブ経由で送付されますので申請はご不要です。



敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

安 口 克 也 会 員 (枚方RC)

2018年11月25日 逝去 享年51歳

米山功労者、ポール・ハリス・フェロー

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX またはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

月信編集委員会

- ガバナー 山本 博史 (大阪南RC)
- 地区代表幹事 宮里 唯子 (茨木西RC)
- 地区副代表幹事 山本 和良 (大阪南RC)
- 担当地区幹事 横尾 国治 (大阪南RC)
- 地区幹事 木村 芳樹 (大阪南RC)
- 地区幹事 栗原 大 (大阪フレンドRC)
- 事務局員 井上 望美

2018 - 19年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	山本 博史
地区代表幹事	宮里 唯子
地区副代表幹事	飯井 克典
	山本 和良
事務局員	栗正 久美
	井上 望美
	加茂 春日
	船橋 美紗子
	杉本 亜鶴巳

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

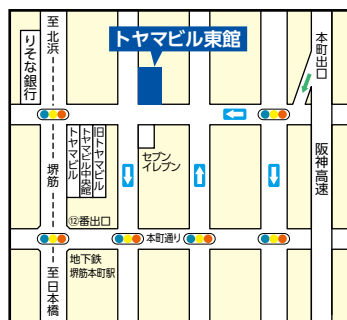
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日
年末年始
2018年12月31日(月)~
2019年1月4日(金)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp